

化粧品研究員



スキンケア製品の「肌にハリが出ます」の一文に、
研究員の失敗と努力が詰まっている

黒木純子さん

プロフィール (2021年3月)

化粧品メーカーに勤務。スキンケア製品の開発や美容成分研究の経験を経て、現在は、「研究所フランス分室」にて最先端の皮膚研究を推進している。リポソームやバイセルといったカプセル化技術の肌効果研究などに従事。

Q 生物の分野に興味をもったのはいつですか？

高校生のころです。生物の先生と相性がよく、授業がおもしろかったんです。例えば「メンデルの法則」の授業で、耳アカがベタベタカカサカサかといった特徴は、遺伝の法則がはたらいている、癖毛は顕性形質といったことを知り、「生物の世界は、ユニークで奥が深い」と感じました。

Q 生物以外でも熱心だったことはありますか？

英語にも積極的でした。父の仕事の関係で、幼少期に6年間マレーシアで暮らしていたことがあり、英語を学んでおけば、世界中どこでも通用すると思っていたんです。国際学会や論文などといった国際舞台では生物の世界の標準語は英語なので、しっかり勉強してきてよかったです。現在、働いているフランスのリヨンでも不自由がありません。

Q 高校時代に、「やっておけばよかった」と思うことは？

物理の勉強です。例えば、皮膚の角層の構造を評価するのに、角層に当てた光の反射率を測定する物理学の知識が必要です。高校時代は、物理が仕事にかかわってくるなんて想像しませんでした。物理は選択していなかったのですが、現場で先輩から教わりながら、日々勉強中です。

Q 現在、どのような仕事をされていますか？

スキンケア製品が、人の肌にどのような効果があるかを調べるために、肌の機能を明らかにする基礎研究をしています。また、美容効果がある成分の研究・開発にも携わり、肌に対するリポソームの効果などを研究しています。

Q リポソームについて、詳しく教えてください。

約 $0.1\mu\text{m}$ という極小のカプセルで、肌に美容成分を届けます。油と水の両方の性質をもつリン脂質の分子が交互に並んで何重にも層になり、層と層の間にたっぷり美容成分を含むことができます。スキンケア製品に応用すると、リポソームが肌の角層の奥に届いて、長時間にわたって美容成分を浸透させることができるのです。

Q 仕事のやりがいは、どのようなことですか？

スキンケア製品の紹介文に、「肌にハリが出ます」などといった一文をよく見かけると思います。その一文のために、研究員は何年もかけて、数え切れない失敗と努力を積み重ねているのです。そんななか、「肌がモチモチになった」「肌に弾力が戻った」などのお客様の声が届くと、「自分の仕事がお客様に伝わり、きちんと役に立っているんだ」とうれしくなり、やりがいを感じます。

Q 研究員というと、1人で黙々と顕微鏡に向かっているイメージがありますが、実際はいかがでしょう？

顕微鏡と向き合っている側面はありますが、それだけではないんですよ。ほかの研究員の意見を聞いて、お互いに協力し合わないと研究は成り立ちません。チームでコミュニケーションをとりながら進めることがとても大切なのです。

また、ときには研究所を飛び出して、化粧品売り場をこっそりのぞいてお客様のようすを観察したり、化粧品販売員の意見を聞いたりすることもあります。現場の反応や声を聞いて、お客様にどのように受け止められているかを把握することは、研究の方向性を決めるのに大変重要です。

Q 現在、黒木さんはフランスに駐在されていますが、どのような経緯だったのですか？

フランスのリヨンに会社の研究所ができたときに「行きたい!」と思って、希望を出しました。リヨンは世界中の皮膚研究者が集まる拠点となっている、皮膚科学の世界の最先端といえる場所です。日本では得られない最新の知識と技術を身につけて、研究者としてのレベルアップを目指しています。

Q 最後に高校生へのメッセージをお願いします。

私が研究員になったきっかけは、高校生のころの「生物が好き」な気持ちを大切に、生物学を学べる大学を選んだことです。当時、大学に企業の研究員の方がいらして、研究に対する姿勢に学ぶことが多く、研究員という仕事を身近に感じることができました。

そのころから、顕微鏡で細胞を見ている時間が一番楽しいと感じています。細胞は、人間を形づ

くる一番小さい単位。わずか数 μm の存在ですが、ていねいに扱うほどスルスと育つようすが見られて、「かわいいな」と感じます。また、これほど技術が発達しているのに解明されていないことが多いので、「もっと知りたい」という気持ちが触発されます。皆さんも、何かを「好き」な気持ちを大切に温めて、未来の選択肢を広げていってください。



▲ 最先端の研究に触れられるフランス分室で、新しい製品の開発に取り組む